

第3学年2組 社会科学習指導案

令和7年10月22日（水）5校時

計27名（男子14名 女子13名）

指導者 大築 深

授業場所 3年2組教室

1 単元 第3章 現代の民主政治と社会 第3節 『地方自治と私たち』

2 目標

（1）地方公共団体の政治の仕組みや住民の権利や義務について理解し、地方自治の基本的な考え方について理解している。 <知識及び技能>

（2）民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的、多角的に考察、構想し、表現している。 <思考力、判断力、表現力等>

（3）地域社会への関心を高め、地方自治において見られる課題の解決に向けて主体的に関わろうとしている。 <学びに向かう力、人間性等>

3 指導にあたって

（1）教材について

「地方自治」は民主主義の学校と呼ばれるように、生徒たちが将来、政治に直接参加することができる場面であり、その基本的な考え方について理解させたい項目である。理解した内容をもとに天童市という生徒が住む身近な地方公共団体の課題や現状を捉え、多面的に考察し、まちづくりについて考えたことを提言としてまとめるのにふさわしい教材であると考ええる。

（2）生徒について

社会の学習における授業プリントや振り返りの記入内容、話し合い活動などに取り組む生徒の様子などから生徒の姿について以下のように捉えた。本学級には、社会に対し関心が高い生徒と低い生徒があり、二極化している状態である。そのため、全体の中で自分の意見を言うことが難しい生徒も多いが、そういった生徒も個別に話を聞くと、自分の意見をきちんと持っていることが多いため、さまざまな方法で意見を吸い上げ、共有していくことをこれまでの授業で心がけてきた。

事前に行った、「どのような街にしたら天童が住みやすくなるか。」というアンケートでは、自然が豊富なので活かしていく、交通網を整備する、子育て支援を行うなどの回答があり、自分が住む天童市については、比較的関心を持っている様子が見える。

（3）指導について

①本単元で特に働かせる見方・考え方

領域	「見方」	「考え方」
公民	政治、法、経済に関する視点 よりよい社会の構築を目指そうとする視点	意味や意義、特色や相互の関連を考える 地域的課題解決に向けて選択・判断する 比較して相違や共通性を明確にする 課題解決のための選択・判断に資する、概念や理論などと関連付ける

- ②単元を通して身に付けさせたい力
- ア 天童市の課題や現状を客観的に把握する力
 - イ 課題や現状に対する施策を、根拠や資料を明確にして考える力
 - ウ 意欲的に意見共有を行い、自分の意見をよりよくしていこうとする態度

③手立て

- (手立て1) 生徒が社会的課題を自分事と捉え、主体的に学習に取り組むことができる題材の吟味
- ・生徒自身の考えを書くことや話すことを通して表現し、整理していく。また、授業を通して自分が住んでいる天童市のことをより知ることができるようにする。
 - ・家族などの身近な大人にインタビューし、生徒だけではない視線を取り入れることで、多角的に天童市を見つめていく。
- (手立て2) 生徒一人一人が自分の考えをきちんともつことができる丁寧な見取りの工夫
- ・根拠をもって施策を考えることができるように、プリントや授業の様子を見取り、適宜支援を行う。
- (手立て3) 様々な方法での自己表現を通して、内省や自己調整を図るための場面の設定
- ・課題解決に向けて、相手との共有の中で自己調整を行い、よりよい施策にすることができるように、ロイロノートや全体での共有を行う。
 - ・財政的な視点や人材の面の視点を伝え、視点をもとにして施策を考え、共有を行う。

4 指導計画（6時間扱い 本時は5時間目） ○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

時	主な学習活動	目指す姿	知	思	態
1	地方自治の考え方と役割を理解する - 天童市の施策に触れ、評価する。 - 単元における課題と評価を全体で共有する。	天童市の施策について、良いと考える政策、良くないと考える政策を考えることで、自分事として捉えている。	○ワークシート		◎ワークシート
2 3 4	地方自治の仕組みと課題について理解する - 全国的に見られる地方公共団体の課題と天童市に見られる課題を比較する。 - 身近な大人へインタビューを行い、どのような施策が必要かどうかを把握する。 - 天童市の施策を考える。	地方公共団体の仕組みと課題について、理解し、天童市ではどのような施策を行うべきかを考えている。	◎ワークシート	○発言	
5 (本時)	天童市に必要な施策は何かを考える 自分が考えた天童市の施策を他者との共有を通して深める。	- 施策を個人や全体で共有することを通して、自分の施策をより良いものに変えている。 - 他者の施策に対し、自分なりに考えて視点をもとにして質問している。	○発言・共有の姿	○発言・共有の姿	◎ワークシート
6	地方自治の住民参加への重要性について考える どのような施策へ投票するかを、理由をつけて考える。	他者の施策を自分事としてとらえ、投票した理由を、根拠をもとにして説明している。		◎ワークシート	◎ワークシート

5 本時の学習

(1) 目標

他者との共有を通して、自分が考えた天童市の施策の内容を深めるとともに、より住みやすい街づくりを行うためにはどのようなことが必要か考えようとしている。

【思考力・判断力・表現力等】

(2) 指導過程

学習活動【学習形態】	○目指す生徒の姿	◇手立て・留意点
1 課題を把握する。 【一斉】	○前時の内容をふまえ本時の課題を捉えている。	・前時の思考ツールを提示して、本時の見通しをもたせる。
課題 天童がみんな暮らしやすい街になるには？ ～もしも、私が天童市議会議員になったら～		
2 自分の施策を確認する。 【個人】	○自分の施策について、どのような質問が来ても良いようにする。	・浅い思考にならないように、生徒の記述を見取り、声がけを行う。
3 施策を共有する。 【一斉】	○相手がわかりやすいように、資料を提示しながら共有している。	◇質問者は、質問の内容と質問に対する返答をメモすることができるワークシートに整理する。
【中間評価】の場面 ＜予想される生徒の反応＞ ・【説明者】説明の内容に対して、相手が納得していない。 ・【質問者】施策に対する質問の内容が薄い。 ↓ ＜生徒に意識させたいこと＞ ○【説明者】自分の施策の良さが相手に伝わるように説明させる。 ○【質問者】質問の観点を明確にさせる。 ○【全体】他者の意見を参考にしながら、自分の意見を確立させる。 ＜教師の手立て＞ ◇市政の現状や期待することといった根拠をもとに考えているかを問いかける。 ◇地方財政の仕組みや天童市の財政の仕組みをもとにして考えているかを見取る。 『①天童市のどのようなことが課題と思っているか。 ②予算は可能か。 ③実現可能な人材はいるのか。 ④本当に必要なことか。』 という観点で質問する。		
4 共有したものをもとにして、自分の考えや根拠を再考する。 【個人】	○説明で聞いた他者の考えをもとに、自身のまとめを再考している。	・再考できない生徒の様子をみとり、声がけを行う。
5 ロイロノートに自分が考えた施策を提出する。 次の時間の見通しを立てる。 【一斉】	○次回どのような活動をするかを把握する。	・次回、ロイロノートに提出した施策を個人で吟味し、良い政策だと思うものに投票するということを伝える。 ・施策の内容やその施策に投票した理由を見ているということを伝える。 ・ワークシートを回収する。
＜生徒の活動の例＞（B評価） ○天童市の現状を把握し、それに対する施策を考えている。 ○説明する際に、根拠や資料を明確にしながら説明している。 ○地方自治における、住民の権利や義務を理解している。 ○自分の意見をよりよい意見にしようと、自発的に活動している。		

